

「地域課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
携行型蛍光X線分析を利用したマクロ的な流域土砂動態に関する研究 (研究期間：H27年～H29年)	富山県立大学 手計 太一	B
<研究概要> <p>ハンドヘルド蛍光X線分析計(ハンドヘルドXRF分析計)は携帯性に優れており、海岸や河川の砂や礫の構成元素を現場分析できる可能性がある。砂よりも粒子径の大きい礫の化学分析や岩石種の判定をハンドヘルドXRF分析法で調べ、石礫動態を明らかにした研究事例は無い。ハンドヘルドXRF分析法で礫の化学分析と礫種判定が行えれば、河川の後背地のどの地質から礫が供給されたか明らかとなる。本研究では、XRFの精度、石礫の分析方法、その代表性、現場での岩種判定の定義化等多角的に検討を行った。</p>		
<事後評価コメント> <p>土砂生産源を特定する手法が提案され、土砂収支や土砂動態の質的な評価を可能としていることから、研究目的を概ね達成する一定の成果が得られたと言える。今後は、携行型分析計の利点を生かしながら、土砂収支、土砂動態の定量的評価にまで研究が発展することを期待する。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い